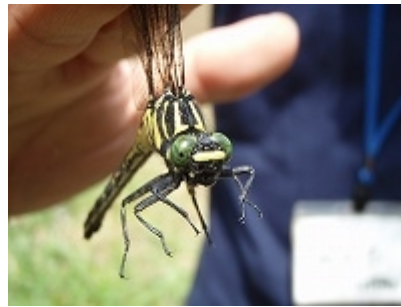


## 第 73 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ：湿地環境の順応的管理—

5月の研修会は、湿生生態園の植生管理作業及び、以前は谷戸山公園でも見られていた絶滅危惧種のホトケドジョウのビオトープ再生を行いました。



晴天に恵まれた5月の谷戸山公園。  
生きもの達の動きも活発になっています。  
写真は田んぼ脇にいたヤマサナエです。



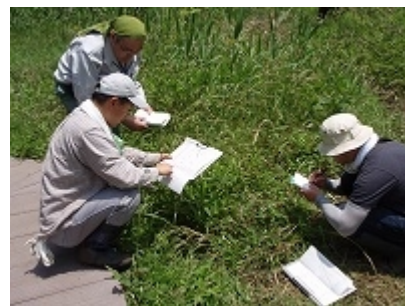
午前の研修は湿生生態園の  
ヨシ刈りからスタートです。



初めて参加される方にも分かるよう、  
湿地環境やヨシの繁茂による他の  
水生植物への影響などを説明します。



多様な植物が生育できるよう、繁茂しすぎたヨシを刈り取っていきます。  
作業後は、右の写真のように流れが見えるようになりました。



その後、湿生生態園の植生調査をしました。  
昨年 9 月まで行われていた植生調査の結果を元に、今の状態を確認し、モニタリングしていきます。



左は湿生生態園の上池を泳いでいたアオダイショウ、右はアズマヒキガエルの幼体です。  
この他にも作業中たくさんの生きものが見られました。



刈ったヨシをまとめ、デッキを清掃し午前の研修は終了です。



昼食後は谷戸に移動し、気になる  
環境に関するニュースの発表をしました。



午後の作業はホトケドジョウの  
ビオトープの再生です。



ほぼ湿地状態だった3年前から比べると、  
毎年の作業でだいぶ流れができてきました。



しかし、ホトケドジョウは産卵に水草を必要とするため、  
流れやたまりに光を入れて水草が生育できるよう、光を遮っている枝を切っていきます。



切った枝は写真のようにまとめて積みます。  
「見た目」に配慮することも、たくさんの方が  
利用する公園を管理する上では大切です。



少し明るくなりました。今後この作業を続け、  
ホトケドジョウの生息環境の復元を目指します。



最後にまとめと質疑応答などを行い、研修会は終了です。

来月も引き続き、湿地環境の順応的管理の研修を行います。これからの時期は、1ヶ月でも植生が大きく変化します。続けて研修会に参加すれば、その変化を確認していくことも出来ます。ぜひ、ご参加下さい。